

南向きに生きよう!

緑とぬくもりのある感動創造産地 ● MINAMISHIMABARA CITY

南島原市は、雲仙山麓の南から南東斜面に位置する、太陽の光に恵まれた明るい地域です。

「南」という言葉から思い浮かぶのは、太陽、光、温暖な気候…、そして緑の大地、青い海へとつながり、さらには、健康、快適などのイメージへと大きく広がっていきます。

「南向き」の「太陽」を強調することは、イメージの向上だけでなく、農水産物などの安全性や安心性のアピールに大いに役立ちます。

また、「南向きに生きる」という言葉は、「南向きに生きる」ことを連想させて、人生への積極的な姿勢を伝え

太陽と自然の恵みで ひとときわ輝く南島原市

ます。「自然」に抱かれて、健やかに、伸びやかに「ひと」の「ぬくもり」とともに暮らす、人間らしい生き方を強く感じさせます。

本市が目指すまちづくりは、降り注ぐ「太陽」の光と豊かな「自然」がもたらす「恵み」を活かし、魅力あふれる地域情報を内外に発信することによって人々の交流を広げて、「感動」と「輝き」を共有しようという、とても前向きなものです。

こうした基本理念のもとに、本市は新たな魅力づくりに向け前向きに取り組む希望あふれる将来像を描いていきます。

地域力を活かして自立するまち

豊かな自然と共生する調和した「まち」と「いなか」



健康的で安全な「食」の産地

市民と行政の協働でつくるまち

